

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月24日

計画の名称	明石市における「安全・快適で緑豊かな市民に寄り添うまちづくり」												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	明石市												
計画の目標	新たな都市公園（運動公園）を整備することにより「安全・快適で緑豊かな市民に寄り添うまちづくり」を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,048	A	1,048	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R02末	R04末
1	令和4年度までに市民一人あたりの都市公園面積を6.98m2(H28末)から7.15m2(R04末)にする。 市民一人あたりの都市公園面積 都市公園面積 / 人口	6m2	6m2	7m2

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	明石市	直接	明石市	-	-	明石市都市公園事業(1-A -1)	17号池公園整備	明石市						1,048	2.31	-	
												小計						1,048		
												合計							1,048	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
明石市において実施	令和6年度
	公表の方法
	明石市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成30年度～令和4年度の5年間で計画していたが、1年繰り越したため、令和5年度での事業完了となった。 約6haの都市公園であることから、公園面積が増加した。 緑のグラウンドや多目的グラウンドなどの有料公園施設に加え、みんなにやさしい公園を目指して、授乳室や着替え室、インクルーシブ遊具も整備したことで、快適性の向上が図れた。また、防災パーゴラやかまどベンチなどの防災ファニチャーを整備したことで、安全性の向上に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
明石市は人口増加に伴い、目標値に達していない状況である。今後も公園用地が確保されれば、誰もが安全で安心して、快適に利用できる公園を整備し、安全で快適な緑豊かなまちづくりを進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市公園面積/人口	
	最終目標値	7m2
	最終実績値	7m2
		令和4年度までの計画だが、1年繰り越したため、最終実績値は令和5年度末の実績値としている。目標設定時の明石市人口は、294,312人であり、都市公園面積が205.29haで、市民一人あたりの都市公園面積が、6.98m2であった。最終目標値は7.15m2で、目標設定時の人口と同程度を想定しており、想定人口のとおりであれば都市公園面積が216.34haで市民一人あたりの都市公園面積が、7.35m2と目標達成であった。しかし、事業完了年度の令和5年度末における人口が306,091人と約1万人増加したことで、市民一人あたりの都市公園面積が7.07m2と目標未達成となった。